

## 降誕祭（2025年12月21日）

※礼拝中に起立の部分がありますが、お体の悪い方はご無理をなさらず、着席のままで結構です。

### 開会の部

前 奏

初めの歌 ♪30 “平和の君に”(1~2節)

み名による祝福～罪の告白～ゆるしの祈願

詩編交誦 詩編98編

式文1ページ

※別紙をご覧ください。

グロリア パトリ / キリエ

グロリア

式文2ページ

式文3ページ

### みことばの部

祝福の挨拶

式文4ページ

### 主日の祈り

全能の神様。あなたは御ひとり子を私たち人間の姿で与え、この世をあなたの光で照らしてくださいました。恵みによって私たちをあなたの子どもとし、聖霊の光によって照らしてください。

あなたと聖霊とともにただ独りの神、永遠の支配者、御子、主イエス・キリストによって祈ります。

アーメン

第1朗読日課	イザヤ書 52:7~10	(旧約 1148 頁)
第2朗読日課	ヘブライ人の手紙 1:1~4	(新約 401 頁)
ハレルヤ唱		式文 5 ページ
福音書の朗読	ヨハネによる福音書 1:1~14	(新約 163 頁)
みことばの歌	♪27 “あめなる神には” (1~2節)	
説教	『クリスマス、今年も神から元気をいただこう。』 森優師	
信仰の告白	使徒信条	式文6ページ

### 奉獻の部

祝福の挨拶		式文6ページ
奉獻(献金)	※ 神への感謝です。ご用意のない方も感謝の心をささげてください。	
奉獻唱～奉獻の祈り		式文7ページ
主の祈り		式文8ページ

### 派遣の部

祝福の挨拶～ヌンク・ディミティス		式文9ページ
教会の祈り	島崎孝子	
祝 福		式文10ページ
終わりの歌	♪ 26“神のみ子は” (1~2節)	
後 奏		

日本ルーテル教団 飯能ルーテル教会  
責任教職 高野公雄牧師

〒357-0033 埼玉県飯能市八幡町 20-9  
電話/Fax 042-972-5774

Mail: [nrkhanno1517@gmail.com](mailto:nrkhanno1517@gmail.com) HP: <https://kirakira2020.jp/>  
Facebook: [www.facebook.com/饭能ルーテル教会](https://www.facebook.com/饭能ルーテル教会)

あたら うた しゅ む うた しゅ おどろ わざ な と  
新しい歌を主に向かって歌え。主は驚くべきみ業を成し遂げられた。

みぎ て せい うで しゅ すく わざ は  
右のみ手、聖なるみ腕によって、主は救いのみ業を果たされた。

しゅ すく しめ  
主は救いを示し、

めぐ わざ しょこく たみ め しめ  
恵みのみ業を諸国の民の目に示された。

しゅ たみ いえ たい いつく こころ と  
主の民の家に対する慈しみとまことをみ心に留められた。

ち は ひと かみ すく わざ み  
地の果てまですべての人はわたしたちの神の救いのみ業を見た。

ぜん ち しゅ む よろこ さけ  
全地よ、主に向かって喜びの叫びをあげよ。

かんせい よろこ うた うた  
歓声をあげ、喜び歌い、ほめ歌え。

こと あ うた  
琴に合わせてほめ歌え、

こと あ がく ね あ うた  
夢に合わせ、楽の音に合わせて歌え。

ふ つのぶえ ひび  
ラッパを吹き、角笛を響かせ、

おう しゅ まえ よろこ さけ  
王なる主のみ前に喜びの叫びをあげよ。

うみ み  
とどろけ、海とそこに満ちるもの、

うた せかい す  
歌え、世界とそこに住むもの。

しお て う な やまやま とも よろこ うた しゅ むか  
潮よ、手を打ち鳴らし、山々よ、共に喜び歌え、主を迎えて。

しゅ こ ち さば しゅ せかい ただ さば しょこく  
主は来られる、地を裁くために。主は世界を正しく裁き、諸国の

たみ こうへい さば  
民を公平に裁かれる。

あたら うた しゅ む うた しゅ おどろ わざ な と  
新しい歌を主に向かって歌え。主は驚くべきみ業を成し遂げられた。

みぎ て せい うで しゅ すく わざ は  
右のみ手、聖なるみ腕によって、主は救いのみ業を果たされた。

しゅ すく しめ  
主は救いを示し、

めぐ わざ しょこく たみ め しめ  
恵みのみ業を諸国の民の目に示された。

しゅ たみ いえ たい いつく こころ と  
主の民の家に対する慈しみとまことをみ心に留められた。

ち は ひと かみ すく わざ み  
地の果てまですべての人はわたしたちの神の救いのみ業を見た。

ぜん ち しゅ む よろこ さけ  
全地よ、主に向かって喜びの叫びをあげよ。

かんせい よろこ うた うた  
歓声をあげ、喜び歌い、ほめ歌え。

こと あ うた  
琴に合わせてほめ歌え、

こと あ がく ね あ うた  
夢に合わせ、楽の音に合わせて歌え。

ふ つのぶえ ひび  
ラッパを吹き、角笛を響かせ、

おう しゅ まえ よろこ さけ  
王なる主のみ前に喜びの叫びをあげよ。

うみ み  
とどろけ、海とそこに満ちるもの、

うた せかい す  
歌え、世界とそこに住むもの。

しお て う な やまやま とも よろこ うた しゅ むか  
潮よ、手を打ち鳴らし、山々よ、共に喜び歌え、主を迎えて。

しゅ こ ち さば しゅ せかい ただ さば しょこく  
主は来られる、地を裁くために。主は世界を正しく裁き、諸国の

たみ こうへい さば  
民を公平に裁かれる。